

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
日本語を考える	講義	2	三木 麻子
授業のテーマ及び到達目標 文章を読み、批評し、表現について考えよう。 目標：文学作品や論評、随筆、歌詞など、いろいろな種類の「日本語表現」の作品に触れて、それが、どのようにして心を伝え、心を動かすのかを考え、表現技術や方法を学ぶ。併せて、理解力・鑑賞力・批評力を高め、それを表現することができる。			
授業の概要 1、各ジャンルの作品（配付資料）をもとに読解し、鑑賞する講義と討論を行い、毎回自分の意見、感想をまとめて提出する。 2、受講者数により、口頭発表の機会を設ける。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス			
2. 小説(1)『あんちゃんおやすみ』より①庭掃除			
3. 小説(2)『あんちゃんおやすみ』より②日本語のおけいこ・感想文の書き方テンプレート			
4. 小説(3)『あんちゃんおやすみ』より③あんちゃんおやすみ			
5. 小説(4)『あんちゃんおやすみ』解説・あとがきより			
6. 小説(5)『にんじん』より			
7. 短歌 新聞歌壇			
8. 俳句のコラムを読む			
9. 歌詞の表現を考える			
10. 詩(1)谷川俊太郎			
11. 詩(2)アンソロジーよりの選択鑑賞			
12. 新聞(1)記事			
13. 新聞(2)コラム			
14. 新聞(3)社説			
15. 新聞(4)エッセイ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:興味を広く持ってさまざまな文章表現に触れる機会を持つようにする。			
学習のあり方:自分で読み取り、既成概念に囚われず、それを表現できるように、考えながら受講する。			
復習のあり方:講義で取り上げたジャンルの作品を自分で見つけて読身を深める。			
【成績評価】			
期末レポート 50% 授業内課題 40% 受講態度 10%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
提出物は添削し、コメントを付して返却する。			
【テキスト】			
プリントを配付する。			
【参考文献】			
授業中に指示する。			